

患者様およびご家族の方へ

「重度肺炎患者への口腔ケア介入の効果について」に関する臨床研究へのご協力依頼について

1. 研究の趣旨：近年、大学病院や病院歯科を中心として、全国的に医科歯科連携の動きが強まっています。福岡歯科大学医科歯科総合病院総合歯科でも2014年5月から、急性期病院である福西会病院と連携し訪問歯科介入を開始しました。なかでも肺炎治療にて入院中の患者様につきまして、口腔ケアを行った複数の方において肺炎が改善したことを経験しました。以上の背景から、2014年5月から2016年4月までの2年間に肺炎で福西会病院にて入院治療を行った患者様につきまして、口腔ケア介入の有無やその頻度等と肺炎の予後についての調査を行い、口腔ケア介入による肺炎の改善効果について調査・検討することとしました。
2. 研究の方法：2014年5月1日から2016年4月30日までの2年間に福西会病院に肺炎治療のため入院した患者様について、性別、年齢、肺炎の重症度、合併症、既往歴、血液データや末梢血酸素飽和度等の検査結果、薬歴、入院期間、転帰、歯科介入の有無、介入回数、口腔ケア介入の有無および頻度、口腔乾燥の有無、他の歯科疾患および処置の種類、摂食嚥下機能評価による摂食嚥下訓練介入などについて調査を行います。なお、目標症例数は180名です。
3. 予想される効果(利益)と危険性(不利益)：本研究により肺炎にて入院された患者様への口腔ケア介入により改善効果が得られることが判明した場合、本研究の成果を学会発表や論文等により公表することで、重度肺炎の患者様への治療法および緩和ケアの一つとして口腔ケア介入という選択肢が得られ、歯科による介入により肺炎改善が望めるという効果が考えられます。なお、患者様の個人情報厳密に管理し、調査・分析によって個人が特定されないよう細心の配慮をおこなうため、個人への不利益が発生する可能性はありません。また、本研究を行うにあたり、謝金などの個人への利益は発生しません。
4. この研究に賛同されない方への辞退の方法について：本研究の対象者となることを希望しない場合は、お手数ですが、ご本人もしくはご家族の方が下記の研究責任者（森田）までご連絡くださいますようお願いいたします。その場合は直ちに当該対象者の診療情報を解析対象から除外し、本研究に使用しないこととします。
5. その他：本研究に関するお問い合わせや研究計画書や研究関連資料（個人情報を除く）を閲覧されたい方は、いつでも遠慮なく下記の研究責任者までご連絡をお願いいたします。なお、個人情報は本人に対してのみ原則閲覧可とします。

福岡歯科大学医科歯科総合病院
診療科：総合歯科
電話連絡先：092-801-0411(内線:127)

研究責任者：森田 浩光
診療科長： 廣藤 卓雄

福西会病院
地域連携室
電話連絡先：092-861-2780(代表)

研究責任者：村上 千代美